

試験内容

Level 4							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数と配点	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リーディング	短文の語句 空所補充 (補助日本語参照)	文脈に合う適切な語句を補う。	5 (問1-5)	各1点	肯定文・否定文、疑問文、命令形、現在進行形、canやhave toなど、助動詞、比較級	短文	マークシート 4肢選択
	短文の語句 下線部の意味	文脈の語句の英語の意味を補う。	5(問6-10)	各1点		短文	
	会話文の文 空所補充	会話文の空所に適切な語句を補う。	10(問11-20)	各1点		会話文	
	文の応答文選択	文の内容に関する質問に答える。	5(問21-25)	各1点		指示・案内 Eメール(手紙文) 説明文	
	長文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	10(問31-40)	各1点		指示・案内 Eメール(手紙文) 説明文	
			全40問	満点40点			

主な場面・題材	
場面・状況	登壇、出席、室内遊び、トイレ、屋外遊び、お昼ごはん、お昼寝、お迎え
☆「主な場面・題材」において他の級と重複している部分があります。幼児教育の分野に属するものでも級によって問題文などの長さや内容が異なります。また、出題される質問のレベルも異なります☆目安としては、4級は「中学初級～中学中級程度」です。	

Level 3							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リーディング	短文の語句 空所補充 (補助日本語参照)	文脈に合う適切な語句を補う。	5 (問1-5)	各1点	現在完了形の一連の文法、受身形、使役形、so that, too to that, too to that文を含む	短文	マークシート 4肢選択
	短文の語句 下線部の意味	文脈の語句の日本語の意味を補う。	5(問6-10)	各1点		短文	
	会話文の文 空所補充	会話文の空所に適切な語句を補う。	10(問11-20)	各1点		会話文	
	文の応答文選択	文の内容に関する質問に答える。	5(問21-25)	各1点		会話文、Eメール(手紙文) 説明文	
	日本文付き短文の語句整序	日本語を読み、その意味に合うように与えられた語句を並べ替える。	5(問26-30)	各1点		短文	
長文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	10(問31-40)	各1点	会話文、Eメール(手紙文) 説明文			
			全40問	満点40点			

Level 2							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リスニング	会話の内容応答文選択 (補助イラスト参照)	会話の内容に関する質問に答える。 (会話と答選択肢放送回数1回、補助イラスト付き)	8(Q.41-48)Conversation 1-4	各3点		会話文 C1: アドミニストレーション C2:アカデミック C3 :C4:先生と園児	マークシート 4肢選択
	会話の内容応答文選択	会話の内容に関する質問に答える。 (会話と質問放送回数1回)	6(Q.49-54)Conversation 5-7	各3点		会話文 C5: アドミニストレーション C6:アカデミック C7: 先生と園児	
	文の内容 一致選択	短いパッセージの内容に関する質問に答える。 (パッセージ放送回数2回と質問放送回数1回)	6(Q.55-60)Scene1-2	各3点		説明文 Scene1: アドミニストレーション Scene 2:アカデミック	
			全20問	満点60点			

主な場面	
場面・状況	登壇、出席、室内遊び、トイレ、屋外遊び、お昼ごはん、お昼寝、お迎え
☆「主な場面・題材」において他の級と重複している部分があります。幼児教育の分野に属するものでも級によって問題文などの長さや内容が異なります。また、出題される質問のレベルも異なります☆目安としては、3級は「中学卒業程度」です。	

Level 2							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リーディング	短文の語句 空所補充	文脈に合う適切な文や語句を補う。	10 (Q.1-10)	各1点	今まで習った文法を基にした応用	会話文	マークシート 4肢選択
	会話文の文 空所補充	会話文の空所に適切な文や語句を補う。	10 (Q.11-20)	各1点		会話文	
	長文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	10 (Passage 1 Q.21-25) 10 (Passage 2 Q.26-30)	各2点		手紙・Eメール・説明文 ・アナウンス・評論文 Passage 1: アドミニストレーション Passage 2: アカデミック	
	日本文付き短文の語句整序	日本語を読み、その意味に合うように与えられた語句を並べ替える。	Q.31-35	各2点		短文	
	文の応答文選択	文の内容に関する質問に答える。	Q.36-40	各2点		会話文、Eメール(手紙文) 説明文	
			全40問	満点60点			

Level 2							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リスニング	会話の内容応答文選択 (補助イラスト参照)	会話の内容に関する質問に答える。 (会話と答選択肢放送回数1回、補助イラスト付き)	10(Q.41-50)Dialogue 1-	各2点		会話文 D1: アドミニストレーション D2:アカデミック D3: 先生と園児	マークシート 4肢選択
	文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。 (英文放送回数2回、答選択肢放送回数1回)	10(Q.51-60)Listening Passage 1-2	各2点		手紙・Eメール・説明文 ・アナウンス・評論文 P1: アドミニストレーション P2:アカデミック	
			全20問	満点40点			

主な場面・題材	
場面・状況	入園の相談(電話対応・通園・伝言メモ・必要事項記入・説明会)、入園と登壇(自己紹介・提出書類・持ち物チェック・カレンダー・悪天候時の登壇・緊急事態時の対応)、室内遊び(工作・お絵描き・連絡帳・ストーリーテリング・ダンス・)、昼食とおやつ(献立・片付け・歯磨き・アレルギー児の対応・お行儀)、屋外遊びと遠足(遊びのルール・道具・遠足の準備・許可書)、病気とケガ(体調不良時の対応・健康管理)
☆「主な場面・題材」において他の級と重複している部分があります。幼児教育の分野に属するものでも級によって問題文などの長さや内容が異なります。また、出題される質問のレベルも異なります。目安としては、2級は「高校中級～卒業程度」です。	

準1級(一次)							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リーディング	文の語句 空所補充と質問内容応答文選択	文脈に合う適切な語句を補う。語句の意味を答える。	8 (Q.1-8)+2(Q.9-10)	各1点	今まで習った文法を基にした応用	文	マークシート 4肢選択
	会話文の文 空所補充	会話文の空所に適切な文や語句を補う。	10 (Q.11-20)	各1点		会話文	
	長文の語句 空所補充	パッセージの空所に文脈に合う適切な語句を補う。	10 (Q.21-40)	各1点		手紙・Eメール・説明文 ・アナウンス・評論文	
	長文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	10 (Q.21-40)	各1点			
ライティング	英作文	指定された場面や状況についての英作文を書く。	1(Q.41)	10点※		記述式	ワード数 30-35
			全41問	満点50点			

準1級(一次)							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リスニング	会話の内容応答文選択 (補助イラスト参照)	会話の内容に関する質問に答える。 (会話と答選択肢放送回数1回、補助イラスト付き)	10(Q.41-50)Dialogue 1-3	各2点		会話文 D1: アドミニストレーション D2:アカデミック D3: 先生と園児	マークシート 4肢選択
	文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。 (英文と答選択肢放送回数1回)	15(Q.51-66)Listening Passage 1-3	各2点		手紙・Eメール・説明文 ・アナウンス・評論文	
			全25問	満点50点			

※ライティング 採点基準	
1.内容：指定された場面や状況について求めている内容が含まれているか	2点
2.構成：英文の構成や流れが分かりやすく論理的であるか	2点
3.語彙：指定された場面や状況にふさわしい語彙を正しく使っているか	2点
4.文法：文構造のバリエーションやそれらを正しく使っているか	3点

主な場面・題材	
場面・状況	登壇(園バス・悪天候時の登壇)、園行事(季節の行事・プール・運動会・発表会・餅つき大会・節分・ひなまつり)、赤ちゃんの成長と乳児保育(発達・離乳食・保育条件書・母子手帳)、病気と休園(虫歯・予防教室・報告書・インフルエンザ・出席停止・園より・臨時休園・連絡帳)、緊急時対応の訓練(引き取り訓練・避難訓練・非常時持ち出しキット)、アフタースクール
☆「主な場面・題材」において他の級と重複している部分があります。幼児教育の分野に属するものでも級によって問題文などの長さや内容が異なります。また、出題される質問のレベルも異なります☆目安としては、準1級は「大学中級程度」です	

1級(一次)							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リーディング	文の語句 空所補充と質問内容応答文選択	文脈に合う適切な語句を補う。語句の意味を答える。	10(Q.1-10)	各1点	今まで習った文法を基にした応用	文	マークシート 4肢選択
	会話文の文 空所補充	会話文の空所に適切な文や語句を補う。	10(Q.11-20)	各1点		会話文	
	長文の語句 空所補充	パッセージの空所に文脈に合う適切な語句を補う。	10(Q.21-30)	各1点		手紙・Eメール・説明文 ・アナウンス・評論文	
	長文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。	10(Q.21-30)	各1点			
ライティング	英作文	指定された場面や状況についての英作文を書く。	1(Q.31) 1(Q.32)	10点※ 10点※		記述式	ワード数 45-50
			全41問	満点50点			

1級(一次)							
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
リスニング	会話の内容応答文選択 (補助イラスト参照)	会話の内容に関する質問に答える。 (会話と答選択肢放送回数1回、補助イラスト付き)	11(Q.33-43)Conversation 1-3	各2点		会話文 D1: アドミニストレーション D2:アカデミック D3: 先生と園児	マークシート 4肢選択
	文の内容 一致選択	パッセージの内容に関する質問に答える。 (英文と答選択肢放送回数1回)	14(Q.51-66)Listening Passage 1-3	各2点		手紙・Eメール・説明文 ・アナウンス・評論文	
			全25問	満点50点			

※ライティング 採点基準	
1.内容：指定された場面や状況について求めている内容が含まれているか	2点
2.構成：英文の構成や流れが分かりやすく論理的であるか	2点
3.語彙：指定された場面や状況にふさわしい語彙を正しく使っているか	2点
4.文法：文構造のバリエーションやそれらを正しく使っているか	3点

主な場面・題材	
場面・状況	幼児教育においてのあらゆる場面や状況：登壇(園バス・悪天候時の登壇)、園行事(季節の行事・プール・運動会・発表会・餅つき大会・節分・ひなまつり)、赤ちゃんの成長と乳児保育(発達・離乳食・保育条件書・母子手帳)、病気と休園(虫歯・予防教室・報告書・インフルエンザ・出席停止・園より・臨時休園・連絡帳)、緊急時対応の訓練(引き取り訓練・避難訓練・非常時持ち出しキット)、アフタースクール
☆「主な場面・題材」において他の級と重複している部分があります。幼児教育の分野に属するものでも級によって問題文などの長さや内容が異なります。また、出題される質問のレベルも異なります☆目安としては、1級は「大学上級程度」です。英語がなくても幼児教育知識ないと回答できない問題も出題される場合があります。	

二次							
準1級		測定技能と検定形式 (約10分)					
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
スピーキング パフォーマンス	5歳児に伝える・教える工作、お話、注意事項など	5歳児クラスのアシスタントティーチャーとして提示された指定された場面や状況を行う。	1	16点	Clarity - 4 points Fluency - 4 points Body Language/Eye Contact - 4 points Content - 4 points Total = 16 points	個人面接 面接委員1人 (5歳児クラスのアシスタントティーチャーとして園児に教える、伝える立場でナレーション、応答の内容、態度、表情、表現、声のトーン、発音、語い、文法、語法、情報量、視覚と聴覚的コミュニケーションを図ろうとする意図や態度などの観点で評価)	マークシート
	受検者自身の意見を問う質問	面接官より出されるトピックに関連した内容についての質問に答える	2	12点			
※Passing grade 19+			Total points = 28 ※				

主な場面・題材	
場面・状況	工作、お話し、注意事項など、保護者へ教える、伝える立場でパフォーマンスをする。個人面接、園説明会、保護者会など。

二次							
1級		測定技能と検定形式 (約20分)					
測定技能	形式・課題	形式・課題詳細	問題数	配点	文法範囲	問題文の種類	解答形式
スピーキング パフォーマンス	保護者に伝える・お知らせ、お話し、注意事項など	クラス担任として提示、指定された場面や状況によってプレゼンテーションを行う。	1	16点	Clarity - 4 points Fluency - 4 points Body Language/Eye Contact - 4 points Content - 4 points Total = 16 points	個人面接 面接委員1人 (クラス担任として、保護者へ、伝える立場でナレーション、応答の内容、態度、表情、表現、声のトーン、発音、語い、文法、語法、情報量、視覚と聴覚的コミュニケーションを図ろうとする意図や態度などの観点で評価)	マークシート
	受検者自身の意見を問う質問	面接官より出されるトピックに関連した内容についての質問に答える	2	12点			
※Passing grade 19+			Total points = 28 ※				

主な場面・題材	
場面・状況	お話し、お知らせ、注意事項など、保護者へ教える、伝える立場でパフォーマンスをする。個人面接、園説明会、保護者会など。

二次の受け方 (例:準1級)	
面接委員は、すべて英語でコミュニケーションを行います。面接中にメモ・写真撮影・録音などはしてはけません。(※与えられた課題によっては、メモをとっても良い場合があります。)	
二次当日の流れ	
1:入室	係員の指示に従い、面接室に入ります。
2:「受検カード」	面接委員に「受検カード」を手渡しします。
3:着席	面接委員の指示に従い、着席します。
4:氏名・級の確認と簡単な質問	面接委員があなたの氏名とこれから受検する級の確認を簡単な質問をします。
5:トピックの説明	面接委員からトピックと準備の指示があります。
6:考慮時間(3分間)	面接委員からパフォーマンス準備の時間の支持があります。準備時間は3分間です。
7:パフォーマンス(5分間)	面接委員から指示されたら、パフォーマンスを始めください。時間は5分間で、それ以上続く場合は、途中で中止させられます。
8:Q&A(2問)	パフォーマンスが終わると、面接委員がトピックに関連した質問をしますから、答えてください。質問は、2問あります。 ※質問が聞き取れなかった場合など、自然な流れの中で行われた「聞き返し」なら、返答の対象にはなりません。ただし、不自然に行われたり、くり返し聞き返ししたりした場合は、減点の対象になります。また、質問に対して答えている途中で、口ごもるなどして応答が滞る場合には、次の質問に進むことがあります。
11:検定終了	検定が終了したら、使用した題材などを必ず面接委員に返してから退室してください。
12:退室	退室後は、すみやかに会場から退場します。控室へ戻ったり、待機中の受験者と会話をしてはけません。